

## ラグビー関連情報

### 1.日本代表、ジェイミー・ジョセフ ヘッドコーチ、藤井雄一郎強化委員長が表敬訪問



現役時代、当社ラグビー部に所属したジョセフヘッドコーチと藤井強化委員長(前宗像サニックスブルース監督)がワールドカップのご報告および応援へのお礼にいらっしゃいました。



当社ラグビー部の選手、ジェームス・ムーア選手が日本代表に選出され、ラグビーワールドカップ2019に全試合先発出場しました。

### 2.サニックスワールドラグビーユース 交流大会

ユース世代のラグビーの普及と発展、競技力向上、そして海外チームとの国際交流の場として、グローバルな視野を持つ青少年を育成することを目的として開催。今年、20回目を迎えました。これからも次世代を担う子どもたちの夢を育み、交流の輪を世界中に広げていきたいと考えています。



Photo by Masafumi ONO  
共催:(公財)日本ラグビーフットボール協会、(一財)サニックススポーツ振興財団、(株)グローバルアリーナ

### 3.宗像サニックスブルース

当社ラグビー部宗像サニックスブルースは、ジャパンラグビートップリーグ2020に参加しています。



今後の試合日程の一部をご紹介します。

1/12(日)	対 NEC	レベルファイブスタジアム(福岡)
1/19(日)	対 リコー	レベルファイブスタジアム(福岡)
1/25(土)	対 NTTドコモ	グローバルアリーナ(福岡)
2/2(日)	対 クボタ	駅前不動産スタジアム(佐賀)
2/15(土)	対 NTTコム	江東区夢の島競技場(東京)
2/22(土)	対 キヤノン	東大阪市花園ラグビー場(大阪)

#### ラグビー訪問教室

ラグビーボールを使った遊びを通して、子どもたちに、「運動の楽しさ」や「相手の気持ちを考えること」を体感してもらおうと実施しています。



## 【会社概要】(2019年9月30日現在)

商号 株式会社サニックス  
本社 福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号  
設立 1978年9月  
資本金 140億4,183万円  
従業員数 2,013人(連結) ※サニックス単体1,791人

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会議決権の基準日	毎年3月31日
剰余金配当の基準日	毎年3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324(通話料無料)
上場証券取引所	東証一部、福証
公告の方法	電子公告 公告掲載URL <a href="https://sanix.jp">https://sanix.jp</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

#### (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(みずほ信託銀行)にお問い合わせください。なお、みずほ信託銀行及びみずほ証券全国各支店にてもお取り扱いいたします。

## 株式会社サニックス

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号  
TEL.092-436-8870  
URL.<https://sanix.jp>

# SANIX

## 株主通信

第42期第2四半期累計期間  
2019年4月1日から2019年9月30日まで

## ■ 株主の皆様へ

株主の皆様には、サニックスの事業へのご理解とご支援を頂き、厚く御礼申し上げます。

当社グループは、既存事業を基盤に安定的な収益構造の構築を優先しつつ、新たな事業・サービスを展開しさらなる成長を目指す「中期経営計画(2019年度-2021年度)」に基づき、「エネルギー事業本部」を新設し、5事業部門体制とする組織改編を行いました。

当第2四半期連結累計期間は、SE(ソーラー・エンジニアリング)事業部門とエネルギー事業部門が減収となったものの、HS(ホーム・サニテーション)事業部門、ES(エスタブリッシュメント・サニテーション)事業部門、環境資源開発事業部門が前年同期比増収となり、環境資源開発事業部門、SE事業部門及びES事業部門の増益のため、グループ全体では前年同期比増収増益となりました。

9月に、廃プラスチックによるリサイクル発電をはじめとする、環境・エネルギー関連事業における功績を評価いただき、環境大臣より、感謝状を頂きました。

社会的に重要な課題である衛生管理、産業廃棄物のリサイクル、再生可能エネルギーの普及促進は、当社の果たすべき役割が大きいと認識し、企業理念「次世代へ快適な環境を」のもと、持続可能な社会づくりに引き続き取り組んでまいります。

変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2019年12月



株式会社サニックス  
代表取締役社長

宗政寛

## ■ 事業概況

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の売上高は、24,538百万円(前年同期比0.4%増)、損益は、1,551百万円の営業利益(同125.4%増)、1,429百万円の経常利益(同107.4%増)、1,140百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益(同487.2%増)となりました。

事業部門ごとの状況は、次のとおりです。売上高は、SE事業部門は5,606百万円(同5.7%減)、HS事業部門は、5,884百万円(同7.1%増)、ES事業部門は1,102百万円(同21.7%増)、環境資源開発事業部門は、8,045百万円(同10.6%増)、エネルギー事業部門は、5,041百万円(同13.1%減)となりました。

利益面では、SE事業部門は、298百万円の営業利益(同439.4%増)、HS事業部門は、1,235百万円の営業利益(同0.3%減)、ES事業部門は、137百万円の営業利益(同6.8%増)、環境資源開発事業部門は、1,655百万円の営業利益(同133.5%増)、エネルギー事業部門は、30百万円の営業損失(前年同期は253百万円の営業利益)となりました。

### ■ 通期連結業績予想数値(2019年4月1日~2020年3月31日)

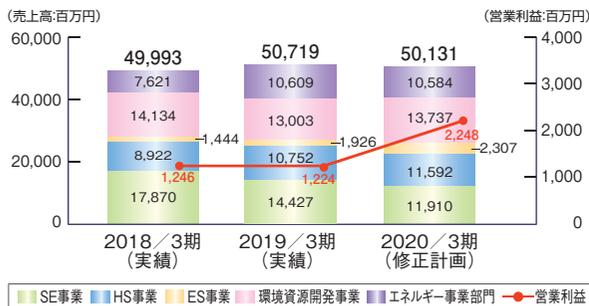
売上高は、エネルギー事業部門の売上高減少の影響により、前回予想を下回る見込みです。利益については、売上高が前回予想を下回るものの、第2四半期累計期間の業績が予想を上回ったことで、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についてそれぞれ修正しました。

	2020/3期		差異
	5/14発表計画	11/13修正計画	
売上高	50,900	50,131	△768
SE事業部門	11,584	11,910	+326
HS事業部門	11,660	11,592	△67
ES事業部門	2,350	2,307	△42
環境資源開発事業部門	15,775	15,990	+215
エネルギー事業部門	11,957	10,584	△1,373
内部売上高調整額	△2,426	△2,253	+172
営業利益	1,910	2,248	+338
経常利益	1,810	2,079	+269
親会社株主に帰属する当期純利益	1,370	1,579	+209

(単位:百万円)

△は減少。

### ■ 売上高と営業利益の推移(連結)



■ SE事業 ■ HS事業 ■ ES事業 ■ 環境資源開発事業 ■ エネルギー事業部門 ● 営業利益

※内部売上高調整額は環境資源開発事業部門の売上高から差し引いております。

## ■ 連結財務諸表

### ■ 損益計算書

(単位:百万円)

項目	期別	当上期 (2019/4~9)	前上期 (2018/4~9)	前通期 (2018/4~2019/3)
売上高		24,538	24,447	50,719
(SE事業部門)		5,606	5,947	14,427
(HS事業部門)		5,884	5,495	10,752
(ES事業部門)		1,102	905	1,926
(環境資源開発事業部門)		8,045	7,275	14,116
(エネルギー事業部門)		5,041	5,804	10,609
(内部売上高調整額)		△1,142	△980	△1,113
売上原価		15,675	16,943	35,889
売上総利益		8,863	7,503	14,830
販売費及び一般管理費		7,311	6,815	13,605
営業利益(△損失)		1,551	688	1,224
営業外収益		72	129	209
営業外費用		194	128	251
経常利益		1,429	689	1,182
特別利益		—	—	—
特別損失		—	377	472
税金等調整前四半期(当期)純利益(△損失)		1,429	312	710
法人税、住民税及び事業税		296	158	498
法人税等調整額		△4	△40	△24
少数株主利益		△3	0	△3
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(△損失)		1,140	194	240

### ■ 貸借対照表

(単位:百万円)

項目	期別	当上期 (2019/9末)	前上期 (2018/9末)	前通期 (2019/3末)
資産の部				
流動資産		14,483	15,767	16,613
固定資産		15,625	14,183	14,395
資産合計		30,108	29,950	31,009
負債の部				
流動負債		19,834	22,648	23,529
固定負債		4,995	3,053	3,285
負債合計		24,829	25,701	26,815
純資産の部				
純資産合計		5,278	4,249	4,193
負債純資産合計		30,108	29,950	31,009

### ■ 所有者別株式状況(2019年9月30日現在)

金融機関	7,067千株	14.81%
金融商品取引業者	721千株	1.51%
その他法人	11,681千株	24.47%
外国法人等	5,089千株	10.66%
個人その他	23,175千株	48.55%
計	47,735千株	100.00%

※単元未満株式および自己名義株式を除いて集計しております。